

たからじま



2022年3月発行 NO.34
特定非営利活動法人 宝島
座間市入谷西2-53-14
TEL 046-259-5120
FAX 046-259-5121

会員数 76名 (令和4年3月現在)

～人間が生きていく上で最高の宝物、それは「思いやり」や「やさしさ」
私達は障がい児者支援を通して、その宝物を身につけていきます。～



宝島のホームページ

この一年を振り返って（次の一年に向けて）

昨年4月より勤務し始め、翌月末に理事長を引き継ぎ、「宝島」全般を経営者として一年間見てきて、次の一年は以下の事を中心に取り組もうと思っています。

一つ目、新しく生活介護事業を行う拠点の開設が必要だと思っています。今後も生活介護の利用希望者は増えると思われるなか、新田宿（生活介護たからじま）は受け入れられる人員の限界に達しつつあります。また、座間市内全体を見渡しても生活介護のサービスを希望する利用者の受け入れ体制は決して十分とは言えません。2022年度中に、新しい生活介護事業所の拠点作りに目途をつけたいと思います。

二つ目、人手不足の解消です。職員、非常勤職員共に足りていないと思います。職員確保のことをいろいろ考えていますが、会員の皆さまも年齢を問わず、福祉に関心があり、そうした職場で働いてみたいという方がお近くにいらっしゃったならば、ぜひとも『宝島』を紹介してください。その人にあった働き方、働く場所を共に考えていきたいと思っています。詳しくは裏面をご覧ください。

以上のことを、22年度の重点目標として取り組んでいくつもりです。今後とも、宝島へのご支援ご協力をお願いいたします。



「緑ヶ丘ゆめひろば」では美味しいお弁当やどまりん焼きも販売しています。ぜひともお立ち寄りください！

NPO法人 宝島
理事長 磯崎洋二



～特定非営利活動法人宝島第17回定期総会のお知らせ～

令和3年度の宝島の定期総会を以下の日時で開催することが決定しましたので、ここにお知らせさせていただきます。

開催日時：令和4年5月28日（土）10時～ 新田宿宝島にて

*会員の方への詳細はあらためて4月中に発送させていただきます。

一緒に働いて下さる方を募集しています！！～非常勤スタッフ募集～

宝島では下記の職種を募集しています。さまざまな障がい児者支援を通じて、わたしたちとともに「座間」の地域に貢献してみませんか？
介護職経験者、大歓迎です。詳細につきましてはお問合せください。

施設見学も可能です。 **お問合せ** 046-259-5120 担当：本下



◎障害者施設での生活支援員

勤務日数 月曜日～金曜日

(週3～4回程度できる方)

9:00～17:00

※原則シフト表に基づく

勤務場所

新田宿施設

(座間市新田宿8-8)

◎障害児・者施設での支援員

勤務日数 日曜日～土曜日

(週3～4回程度できる方)

平日：14:00～18:00

土日祝日および長期休暇中

9:00～17:00

※原則シフト表に基づく

勤務場所

宝島の家

(座間市座間2-969)

◎児童ホームの学童保育指導員

勤務日数 月曜日～土曜日

(週3～4回程度できる方)

13:30～18:30の中で

4時間程度(土曜日や夏休みなど長期休暇中は8時間程度)

※原則シフト表に基づく

勤務場所

宝島キッズ

(座間市入谷西2-53-14)

～温かいお心に感謝します！～

コストコホールセールジャパン

(株)座間倉庫店様より

コストコ様より、と～っても温か～いプレゼントを頂きました。材質はふわふわもこもこで裏起毛、デザインもクロス柄がかわいくて、寒い冬を乗り切るにはバッチリのひざ掛けをたくさんいただきました。いつも感謝感謝♡の品物ばかり。本当にありがとうございました！



写真を見ても
わかるとおり、
ぬくぬく感がハ
ンパない！！

◎ご厚志・・・小室きよみ様、匿名の方

◎野菜・果物類・・・高橋信子様、鈴木茂様、古屋忠文様、高橋正倫様、山本民子様、丹沢農園様、日高輝雄様

◎ペットボトルキャップ・・・星野ゴルフガーデン様、西野建設様、五島様

◎その他・・・高橋孝子様(徘徊検知用コールマット)、妹尾様(文具類)

心から感謝し、
大切に使用させていただきます



編集後記

まさにきれいな桜が満開を迎えようとしている中、宝島の17年目が無事に終わろうとしています。おととしの冬から続くコロナ禍の中、利用者やそのご父兄も、そしてスタッフや関係者も、なんとか罹患しないようにと最大限の注意を払いながら毎日を過ごしてきました。その甲斐あってかクラスターなどが発生することもなく、今日に至っています。2月の終わりからは3度目のワクチン接種も始まっており、一日でも早く感染を意識することなく普通の生活が送れるようになる日が来ることを切に希望してやみません。大いなる未来に向けた18年目に向けて、宝島はさらなる努力を積み重ねていきます。